

防災になぜ 男女共同参画の視点が 必要か

2023.10.21 日進市 市民協働課

(内閣府「災害対応力を強化する女性の視点」実践的学習プログラム より)

本セッションの目標と学習内容

目標

- なぜ防災に男女共同参画の視点が必要なのかを理解する
- 行動することの大切さに気付く

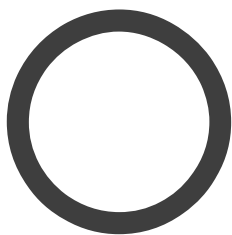
学習内容

- 女性と男性で異なる災害の影響
- 災害時に女性が抱える困難とは
- 男女共同参画の視点に立った災害対策の取組の進め方

あなたは
女性と男性で
災害から受ける影響に違いがあると
知っていますか？

3

Q1. 阪神・淡路大震災において
兵庫県の死者数は
男性よりも女性が多かった



4

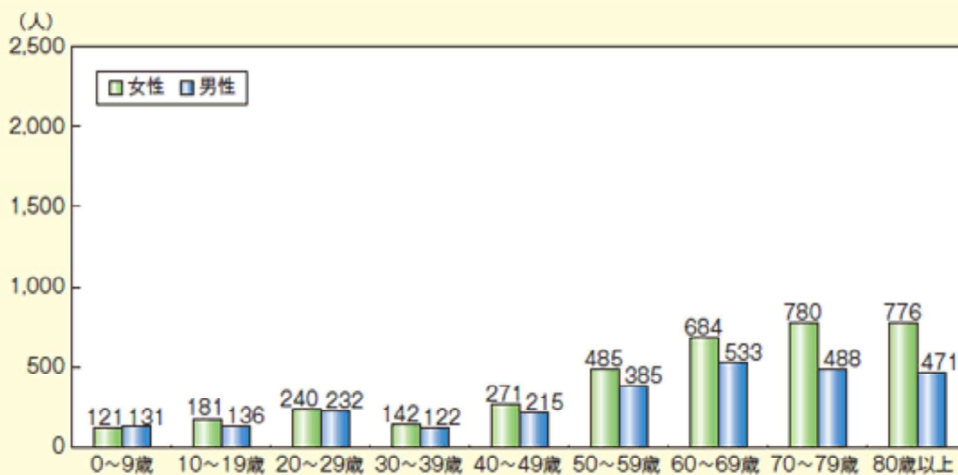
正解は

5

阪神・淡路大震災の男女別・年齢階層別死者数

阪神・淡路大震災における兵庫県の死者数は

女性は男性に比べ約1,000人多く、約**1.4倍**であった

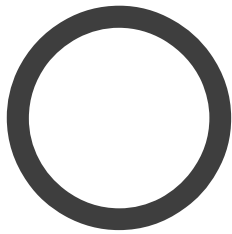


(備考) 1. 兵庫県「阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について」(平成17年)より作成。
2. 性別不詳、年齢不詳は除く。

阪神・淡路大震災の男女別・年齢階層別死者数(兵庫県)

6

Q2. 東日本大震災の前と後で
飲酒量が増加したのは
男性よりも女性が多かった



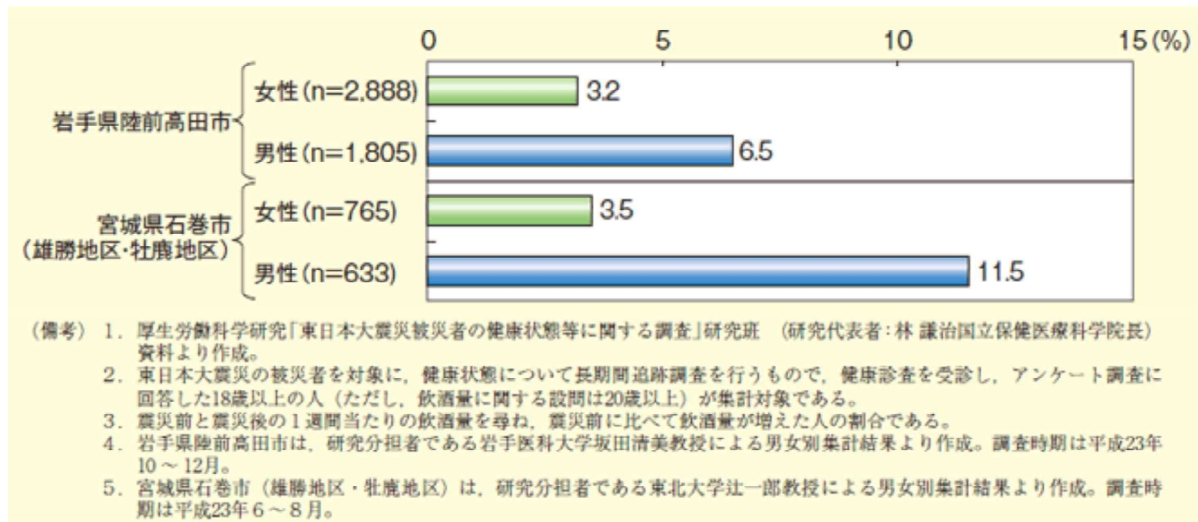
7

正解は

東日本大震災 飲酒量の増加(男女別)

飲酒量の増加率は、陸前高田市・石巻市ともに

女性の3%台に対し、男性は約7~12%と高い

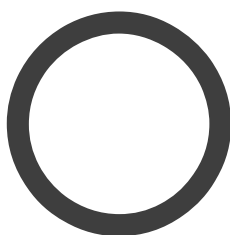


飲酒量が増加した人の割合(陸前高田市, 石巻市)(男女別)

出典:「平成24年版男女共同参画白書」内閣府

9

Q3. 東日本大震災後 睡眠障害が疑われたのは 男性よりも女性が多かった



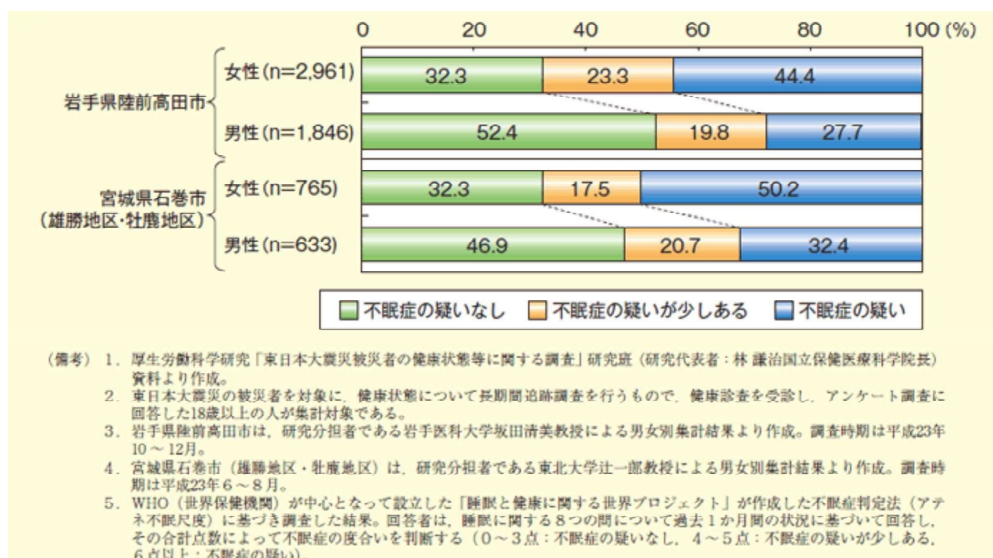
10

正解は

11

東日本大震災 睡眠障害(男女別)

睡眠障害が強く疑われる者は、
陸前高田市では、**女性44.4%** **男性27.7%**
石巻市では、**女性50.2%** **男性32.4%**



睡眠に関する状態(陸前高田市, 石巻市)(男女別)

12

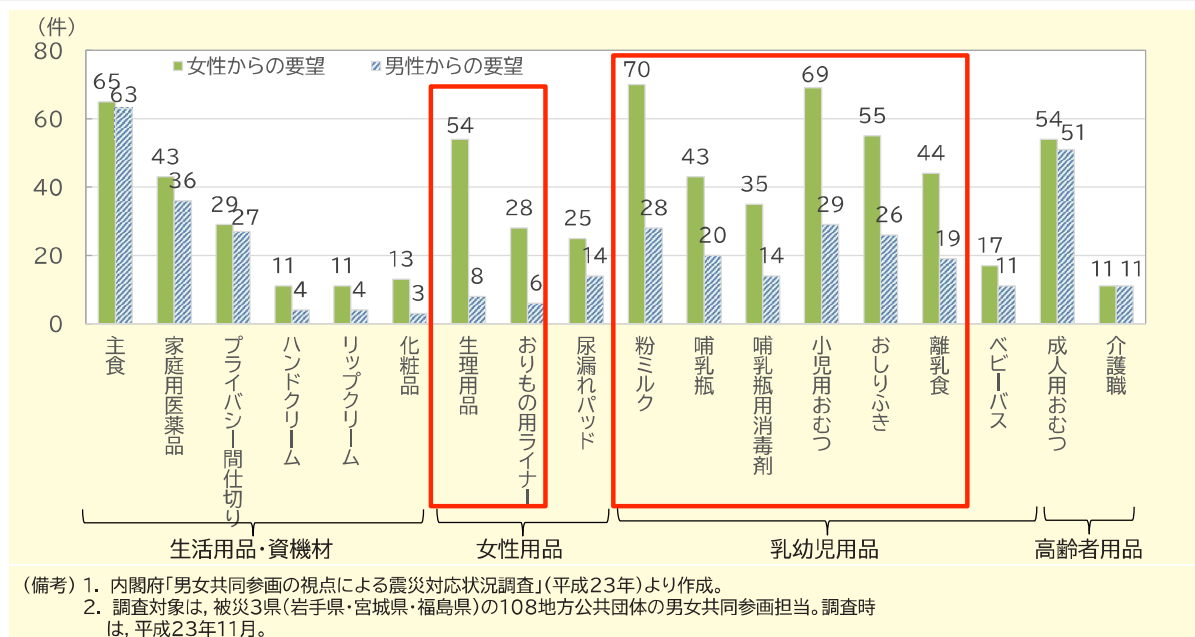
性別により異なる災害時の影響

被災地では何が起こっていたのか

13

災害時に女性と男性で異なる支援ニーズ

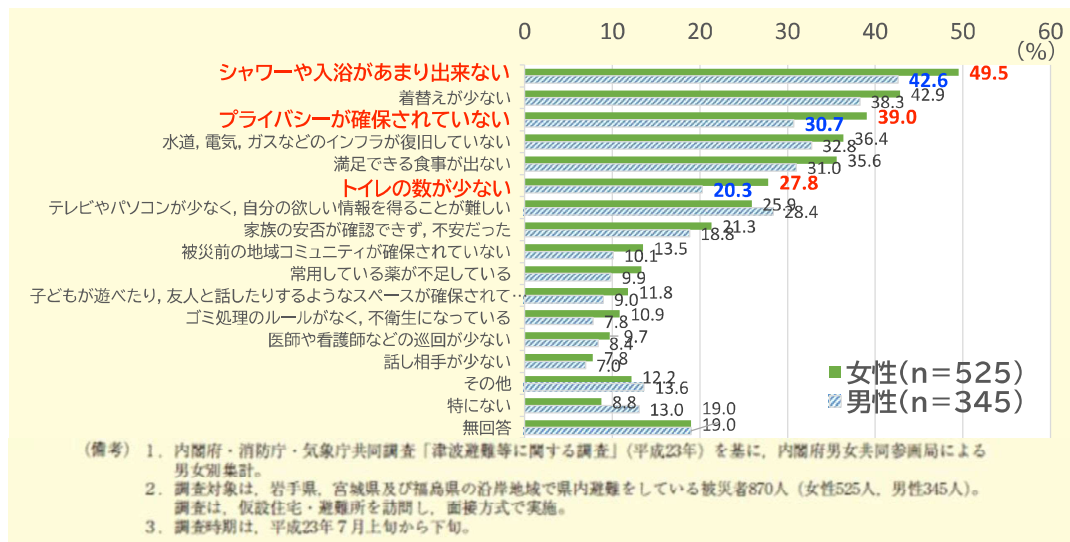
東日本大震災時、**備蓄や支援物資が、女性や子育て家庭からの要望**（女性用品や粉ミルク、小児用おむつ、おしりふき、離乳食等の乳幼児用品）に**十分対応できていなかった。**



備蓄や支援物資に対する要望（男女別、複数回答）

東日本大震災直後からの避難所での生活

避難所生活で女性たちは、「シャワーや入浴があまり出来ない」「プライバシーが確保されていない」「トイレの数が少ない」といったことに困っていた。しかも、避難所の管理責任者の多くが男性で、避難所の運営に女性の声が届かない現実があった。



災害直後からの避難所での生活について困っていること(男女別、複数回答)

出典:「平成24年版男女共同参画白書」内閣府

15

女性・子どもに対する暴力

- DV
 - 震災で**新たにDVが始まった**、震災前から夫の暴力を受けていた、もともとあった**暴力が悪化**したなど
- 性暴力
 - 男性が隣に寝に来る、からだを触る、授乳の注視、のぞき、強制性交等も起こっている。
 - 避難所のほか、仮設住宅でも起きている。
 - 権限のある支援者からの「対価型」暴力や、被災者から支援者への性的嫌がらせも発生している。
- 子どもに対する暴力
 - 避難者から怒鳴られたり叩かれたりするケースや、性的被害も起こっている。

震災後夫のイライラがひどくなり、どなられたり、無視されたり、モノを投げつけられたりするようになった。(30代女性)

DVで離婚調停中の夫が避難所に探しに来て、気持ちが落ち着かなかった。

避難所で、夜になると男の人が毛布の中に入ってくる... 周りの女性も「若いから仕方ないね」と見て見ぬふりをして助けてくれない(20代女性)

被災地での女性の雇用

- 女性は、パート・アルバイト等の非正規雇用の割合が高いため、**事業所が被災**すると、**解雇・雇い止め**に遭いやすく、**世帯収入が減少・途絶**する
- **保育所や介護施設が被災**すると、仕事を**辞めざるを得ない**人も多い
- 一度離職すると、**育児・介護と仕事との両立**が一段と**難しい**・・・

震災同居してきた親族との軋轢を避けて独立した生活を送ろうと思い、就職を探しているが、特に資格のない私がすぐ就職できる求人は見当たらない。(50代女性)

シングルマザーで娘と二人暮らし。被災して仕事が無くなった。知らない町でつながりもなく、仕事もなくどうやってくらしていけばいいか不安。

震災後夫が体調をくずし仕事ができなくなった。生活のため正職員の仕事を希望しているが見つからず、子どもを預けるところもなく困っている。(20代女性)

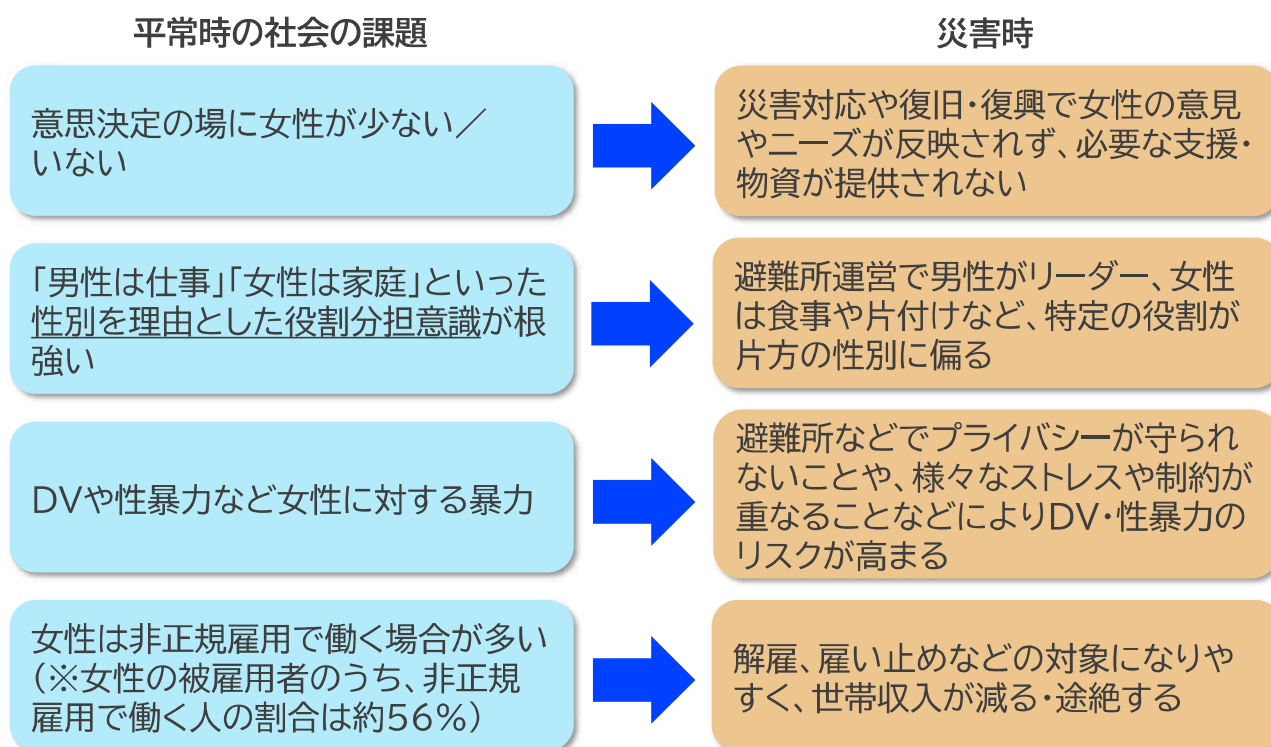
出典:「被災地の女性からの雇用に関するメッセージ」東日本大震災女性支援ネットワーク (<http://risetogether.jp/?p=139>)

17

なぜ、災害時に
女性の困難・負担が増大するのか？

18

災害時には平常時における社会の課題が顕在化



出典:「労働力調査(基本集計) 2019年度(令和元年度)」総務省

19

性別を理由とした役割分担意識に関連した問題



ただし、上記はあくまで男女別の傾向であり、こうした傾向を参考としながら、全ての人・世帯の支援を考える必要がある

例: 共働き家庭の保育問題、男性の介護者の負担、責任ある立場に就く女性の困難、家族のケアのため職場復帰が遅れることでの解雇・降格 など

では、災害時に女性が抱える困難を 軽減するには どうすればいいのでしょうか？

21

防災基本計画 地方公共団体における男女共同参画に関する記述

第1編 総則

- 地方防災会議の委員への任命など、防災に関する政策・方針決定過程及び防災の現場における女性や高齢者、障害者などの参画を拡大し、男女共同参画その他の多様な視点を取り入れた防災体制を確立する必要がある。

第2編各災害に共通する対策編

第1章 災害予防

- 市町村(都道府県)は、自主防災組織の育成、強化を図り、消防団とこれらの組織との連携等を通じて地域コミュニティの防災体制の充実を図るものとする。また研修の実施等による防災リーダーの育成、多様な世代が参加できるような環境の整備等により、これらの組織の日常化、訓練の実施を促すものとし、住民は、地域の防災訓練など自発的な防災活動に参加するよう努めるものとする。その際、女性の参画の促進に努めるものとする。
- 地方公共団体は、男女共同参画の視点から、男女共同参画担当部局が災害対応について庁内及び避難所等における連絡調整を行い、また、男女共同参画センターが地域における防災活動の推進拠点となるよう、平常時及び災害時における男女共同参画担当部局及び男女共同参画センターの役割について、防災担当部局と男女共同参画担当部局が連携し明確化しておくよう努めるものとする。

防災基本計画

地方公共団体における男女共同参画に関する記述

第2編各災害に共通する対策編

第2章 災害応急対策

- 市町村は、指定避難所の運営における女性の参画を推進するとともに、男女のニーズの違い等男女双方の視点等に配慮するものとする。特に、女性専用の物干し場、更衣室、授乳室の設置や生理用品・女性用下着の女性による配布、巡回警備や防犯ブザーの配布等による指定避難所における安全性の確保など、女性や子育て家庭のニーズに配慮した指定避難所の運営管理に努めるものとする。
- 市町村(都道府県)は、各応急仮設住宅の適切な運営管理を行うものとする。この際、応急仮設住宅における安心・安全の確保、孤独死や引きこもりなどを防止するための心のケア、入居者によるコミュニティの形成及び運営に努めるとともに、女性の参画を推進し、女性を始めとする生活者の意見を反映できるよう配慮するものとする。また、必要に応じて、応急仮設住宅における家庭動物の受入れに配慮するものとする。

第3章 災害復旧・復興

- 被災地の復旧・復興に当たっては、男女共同参画の観点から、復旧・復興のあらゆる場・組織に女性の参画を促進するものとする。併せて、障害者、高齢者等の要配慮者の参画を促進するものとする。

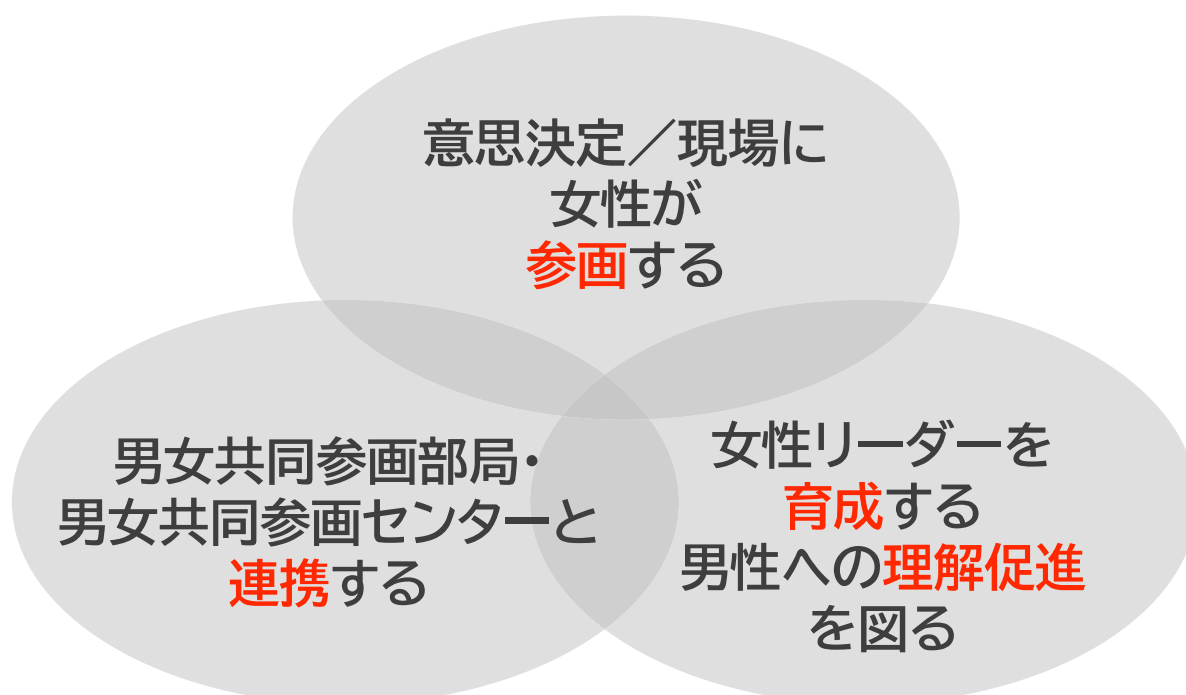
出典:「防災基本計画」中央防災会議 令和2年5月

23

あらゆる防災・復興施策に
男女共同参画の視点が不可欠

24

あらゆる防災・復興施策に男女共同参画の 視点を入れるための取組



25

男女共同参画の視点に立った取組とは

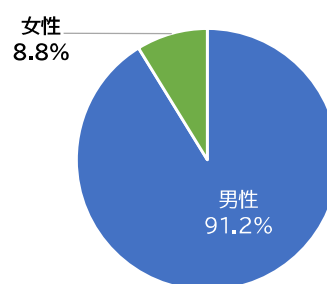
(1) 意思決定／現場に女性が参画する

● 防災・復興の意志決定への参画

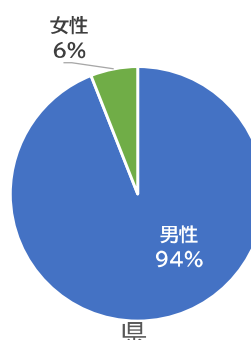
- 地方防災会議に占める女性委員の割合を3割以上にする
- 災害対策本部・復興対策本部に女性を配置する

● 防災の現場への参画

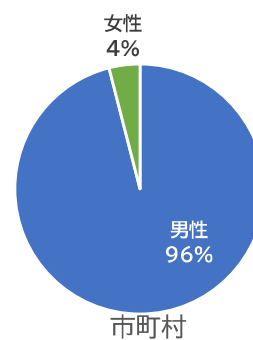
- 防災・危機管理担当部局の職員に女性を配置する
- 避難所の管理責任者に女性と男性の両方を配置する
- 自主防災組織、消防団への女性の参画を拡大するとともに、活動を続けられる工夫をする



市区町村防災会議の委員に占める割合



県



市町村

熊本地震の災害対策本部会議構成員の男女別比較(常勤、最大時)

※熊本県、大分県で調査を実施

26

男女共同参画の視点に立った取組とは

(2) 男女共同参画部局・男女共同参画センターと連携する

●自治体内部の連携

- ・ 地域防災計画や避難所運営マニュアル等に男女共同参画部局・男女共同参画センターの**役割を位置づける**
- ・ 平常時から**男女共同参画部局と防災・危機管理担当部局、福祉部局、各種専門家等**が連携体制を構築する

●民間との連携

- ・ 男女共同参画センターを中心に女性支援に関わる市民団体や男女共同参画推進員等と**連携を構築**する



避難所で聞き取りを行う
市の職員(保健師)
【岡山県倉敷市】

27

男女共同参画の視点に立った取組とは

(3) 女性リーダーを育成する・男性への理解促進を図る

●女性リーダーの育成

- ・ 自主防災組織、女性消防団等の地域に根ざした組織・団体の長となる**女性防災リーダーの育成**を行う
- ・ **女性による自主防災組織の形成**を支援する



災害時のトイレ作り体験の説明をする
いばらき女子防災部員
【大阪府茨木市】

28

●男性への理解促進

- ・ 自治体職員や自治会長などの**男性に対し**、女性の視点からの災害対応に関する**研修や啓発**を行う
- ・ 自主防災組織等において**女性と男性が協働**する

男女共同参画の視点に立った取組を進めると

- 意思決定の場に女性が参画し、防災対策に女性の視点が入ることで、女性と男性の異なるニーズや課題が的確に把握される
- 高齢者、障害者、乳幼児などの介護・介助をするケア者(多くの場合女性)のニーズを踏まえた支援ができる

女性と男性で異なる被害の影響が軽減される
要配慮者の支援が充実する

→ それにより、被害全体が縮小する

- 男女共同参画部局・男女共同参画センターと連携し、防災・復興のあらゆる施策に女性の視点が組み込まれる
- 女性の防災人材の育成により、地域で女性の防災リーダーが増える
- 女性の視点からの災害対応について男性の理解が深まる

女性と男性がともに防災・復興に参画し、協力する

→ それにより、災害に強い社会が作られる

29

平常時にできないことは、災害時にはなおさらできない

まずは、行動を起こす

- 女性が参画するために
- 男女共同参画部局・男女共同参画センターと連携するために
- 女性リーダーの育成・男性への理解促進を図るために

“今”取り組むべきことを考える

行動を起こすことでしか現状は変わりません
これは、全ての部局・全ての施策に関わります

気づいた“今”から行動を起こしましょう！

30